

## 北東アジア地域自治体等の環境保全に関する情報交流

### 黒龍江省における環境の現状の紹介について

黒龍江省は中国の東北部に位置し、面積は 45.4 万 km<sup>2</sup> で、人口は 3,780 万人で、森林カバー率は 42.1% である。生態環境の状況は良好で、野生動植物の資源に富み、生態環境は全国のトップレベルである。2007 年の主要汚染物の排出量は、前の年と比べて、COD が 2% 下がり、SO<sub>2</sub> は 0.51% 下がり、2 指標とも下がったのは初めてであった。都市の大気環境は良好で、全国の中でも上のレベルにあり、騒音による汚染の程度も比較的軽い状況である。松花江流域の水質状況は全体的に安定し、以前より少し改善が見られ、軽度の汚染が見られる。

#### 水環境

##### <現状>

全体から見て、黒龍江省の水質状況は軽度の汚染が見られるものの、湖沼とダムの水質状況は、比較的良い状況である。

松花江水系の河川は、相当の汚染が見られ、下流流域と一部の支流では汚染がひどい状況となっている。主要汚染指標は、過マンガン酸塩指数（濃度）である。松花江本流は軽度の汚染があり、主要汚染指標となる過マンガン酸塩指数の濃度は 2006 年の同じ時期より低い状況である。

2007 年における黒龍江省の汚水排出量は 10.95 億トンで、汚水中の主要汚染物となる COD の排出量は 48.80 万トンで、アンモニア態窒素の排出量は 5.10 万トンである。

##### <対策と行動>

「松花江流域水質汚濁防止計画（2006～2010）」に基づき、対策を積極的に実施し、24 のプロジェクトが既に終了し、53 のプロジェクトが現在実施中である。また、34 の都市飲用水源地に悪影響を与える排水事業者に対して取締りを行なった。

#### 大気環境

##### <現状>

省内の都市における優良天候日の平均日数は年々増加し、優良天候日数の割合は 90.4% で、2002 年に比べて 3.6% 高くなっている。

省内の都市での吸入の恐れがある粒子状物質の平均濃度は下がる傾向にあるものの、依然として大気環境に影響をもたらす主な要素となっており、大気汚染は典型的なばい煙型汚染の特徴を呈している。2001 年に比べて、吸入の恐れがある粒子状物質の濃度は 31% 下がった。二酸化硫黄の年平均濃度は国家大気環境 2 級基準に達している（居住地域の基準）。

##### <対策と行動>

2007 年現在、省内では 33 の排気ガス処理プロジェクトがあり、2008 年度に竣工するプロジェクトによって、新たに 191.38 万 m<sup>3</sup>/時間の排ガス処理能力が増加する。二酸化硫黄、ばいじんと工業ばいじんの排出基準達成率はそれぞれ 89.7%、90.9% と 85.8% となる。

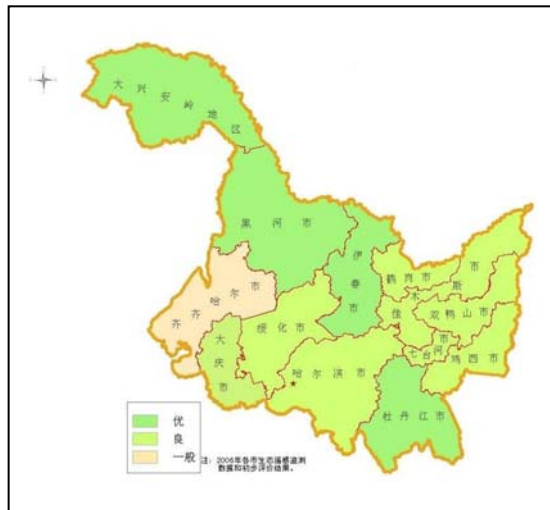
## 生態環境の状況

### <現状>

省内の生態環境の総合的な評価は「良」であり、そのうち、大興安嶺地区（だいこうあんれいちく、Daxinganling）、黒河（こくか、Heihe）、伊春（いしゅん、Yichun）と牡丹江市（ぼたんこうし、Mudanjiang）は優で、チチハル市（Qiqihaer）は普通で、その他の8市は良である。

### <対策と行動>

黒龍江省は国家生態モデル省として指定され、2007年の休耕造林の面積は6万ヘクタールで、改良した「三化草原」（砂漠化、アルカリ土壌化、減少化）の面積は15.3万ヘクタールで、抑制できた土壌流出の面積は16.89万ヘクタールである。新たに建設した省レベルの自然保護区は9つで、自然保護区の総数は186に達し、総面積は590万ヘクタール余りとなり、省内の面積の12.6%を占める。国家レベルと省レベルの生態モデル地区の数は、それぞれ21と11になっている。



## 産業固形廃棄物

### <現状>

2007年現在、省内の産業固形廃棄物の発生量は4,127.99万トン、前年度に比べて213.92万トン増えた。そのうち、石炭や亜鉛の採掘等に伴い発生する捨石が33.23%を占め、微粉炭燃焼灰が24.9%を占めている。

2007年現在、産業固形廃棄物の総合利用量（再利用・再資源化）は2,929.22万トンで、前年度に比べて78.00万トン増え、そのうち、石炭や亜鉛の採掘等に伴い発生する捨石は33.87%を占め、総合利用率（再利用・再資源化）は70.06%に達する。

### <対策と行動>

5,400トン余りの危険廃棄物について、省境を越えて安全に移動させることができた。これにより1,046の放射性廃棄物を無事に移転させ、128の放射性廃棄物を強制的に貯蔵庫内に収めることができた。